

指定管理者事業計画

1. 事業者の概要	<p>(代表団体) 学校法人新潟総合学院 所在地／設立 新潟市中央区東堀通一番町 494 番地 3 / 平成 7 年 3 月 24 日 事業内容 新潟県知事認可による専門学校教育 市内公共施設運営実績 無</p> <p>(構成団体) 愛宕商事株式会社 所在地／設立 新潟市中央区下大川前通四ノ町 2186 番地 / 昭和 56 年 2 月 26 日 事業内容 薬局事業、保険事業、教育事業、旅行事業、医療福祉事業、建築事業、環境事業、ファシリティマネジメント事業、ほか 市内公共施設運営実績 新潟勤労者総合福祉センター、新潟市産業振興センター、新潟市亀田体育館、新潟市横越総合体育館、白根カルチャーセンター、新潟ふるさと村アピール館、亀田清掃センター附属休憩所及び運動公園、みどり森の運動公園体育施設、水の公園福島潟・菱風荘</p> <p>(構成団体) 有限会社ガタケット 所在地／設立 新潟市中央区姥ヶ山 2-10-11 / 平成 11 年 6 月 25 日 事業内容 作家応援事業 (漫画同人誌即売会)、コスプレイヤー事業 (コスプレイベント・専門大型施設運営)、これに付帯関連する事業 市内公共施設運営実績 無</p>												
2. 基本的な運営方針等	<p>(1) 事業理念・運営方針 いいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体の各構成団体は、いずれも新潟市内に本社を置き、地元新潟市とともに市民の皆様に育てて頂き歩んできました。新潟市マンガ・アニメ情報館 (以下、情報館) 及び新潟市マンガの家 (以下、マンガの家) の運営に当たっては、施設の機能、特色を民間のノウハウを活用して最大限に発揮した多種多様なイベント・講座を実施しつつ、新潟市内の各種施設や団体、住民等と連携し、市民との協働による「マンガ・アニメのまち いいがた」の実現に取り組むべく邁進します。 また、公の施設として、誰もが公平・平等で安心できる施設となるべく、お客様目線に立った質の高いサービス、プログラムを提供することで、施設の賑わいを創出し利用者増を図り、以て情報館及びマンガの家が新潟市の文化活動の振興に資するとともに、新潟のマンガ・アニメ文化の市内外への発信、新潟市の観光交流の推進並びに地域活性化のフラッグシップとなることを目指します。 ◇来場者目標 (情報館及びマンガの家合計)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="padding: 2px 10px;">年度</th> <th style="padding: 2px 10px;">H25 年度</th> <th style="padding: 2px 10px;">H26 年度</th> <th style="padding: 2px 10px;">H27 年度</th> <th style="padding: 2px 10px;">H28 年度</th> <th style="padding: 2px 10px;">H29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">来場者数</td> <td style="padding: 2px 10px;">140,000</td> <td style="padding: 2px 10px;">142,000</td> <td style="padding: 2px 10px;">144,000</td> <td style="padding: 2px 10px;">146,000</td> <td style="padding: 2px 10px;">150,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 指定管理者申請の動機、意欲及び抱負等 情報館及びマンガの家は、新潟のマンガ・アニメ文化を発信するフラッグシップを目指すという意味では正に「新潟市の未来を担う、未来への懸け橋」となるべき施設です。当共同体では、そのような施設を管理運営することは、各構成団体の企業活動の目的に合致すると考え、これまで培ってきた経験や民間ならではの質の高いノウハウを惜しみなく投入し、情報館及びマンガの家両施設の機能・特徴との相乗効果を生み出すことで、無限の可能性を引き出し、地元新潟市の益々の飛躍に確実に貢献できるものと確信しています。</p> <p>(3) 中期計画、長期的展望 情報館及びマンガの家の機能・特色を発揮した多様なイベント・講座の実施による認知度の向上、利用者数の増大を図ります。また、関連各種団体との連携・協力を密にし、新たなサービスの研究・開発・育成を促進することで、両施設の機能強化を図り、情報館及びマンガの家のさらなる賑わいを創出するとともに、それらを全国に発信し、益々の利用者増を実現し、さらには新潟市の交流人口の増加を図ります。</p>	年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	来場者数	140,000	142,000	144,000	146,000	150,000
年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度								
来場者数	140,000	142,000	144,000	146,000	150,000								
3. 事業計画	<p>(1) 各施設の事業</p> <p>(ア) 情報館 幅広いアニメ・マンガファンのための情報基地として機能します。</p> <p>①常設展示コーナー 魅力的な展示コーナーを展開し、情報館が新潟市内はもちろん、全国・海外のマンガ・アニメファンのための情報発信基地をメインコンセプトとして施設運営をします。</p> <p>②企画展示コーナー 人気のある作品やジャンルなど目まぐるしく変化するコンテンツの動静を分析し、様々な出版社・イベンターなどと連携し、あらゆるマンガ・アニメファンに注目・来場して頂ける原画展やライブを企画・実施します。</p> <p>③ミニシアター 学生が制作したアニメ作品の上映や、Web で話題になっているアマチュア作品を発掘・上映します。企画展と連動したアニメやコンテンツを上映し、企画展への理解や興味を向上させます。</p> <p>④交流体験スペース・閲覧コーナー 新潟ゆかりのマンガ家によるトークイベントやワークショップを実施し、交流スペースで実施するイベント・企画を通して来場者にアニメ・マンガの楽しさや、新しい楽しみ方を発信します。</p> <p>(イ) マンガの家 マンガ製作に携わる初心者からセミプロ作家まで、幅広い人を対象にした「作家サポート施設」をメインコンセプトとした施設運営を行います。</p> <p>①常設展示コーナー 来場者に何度でも来て頂くため、展示物をサポートできる独自コンテンツを随時提供します。</p>												

	<p>②企画展示コーナー 誰もが知っている作家の展示だけでなく、認知度は低い、その作品が技術的に優れていたり、アイデアが素晴らしかったりと、ヒットした作品以外の作家の作品にもスポットを当てて展示コーナーで紹介します。</p> <p>③交流体験スペース・閲覧コーナー 常勤する作家経験者が個々の利用者の課題解決のためのアドバイス、サポートを行います。</p> <p>④イベントの実施 第一線で活躍する作家や高度の専門性を有する講師を招聘し、実際にマンガ製作に関わる多様な教室を定期的実施し、アマチュア作家の製作スキル向上を図るとともに、教室やイベントの実施による施設の認知度向上・来場促進を図ります。</p> <p>(ウ) 連携事業 情報館とマンガの家両施設における利用者の回遊促進のため、両施設一体となった連携事業を年間最低5回実施します。</p> <p>(2) 付属事業 (ア) マンガ・アニメの資料の収集、保存、調査及び研究 ・全国の作家に呼びかけ、マンガ・アニメの原画・絵コンテの収集に努めます。 ・マンガ原画の保存技術の確立（デジタル化等）を目指します。 (イ) 情報提供、広報・PR活動～適切なメディアミックスによる効果的・効率的な広報宣伝活動の展開 アニメ雑誌等のマスメディアを活用した広報宣伝活動、パブリシティやホームページの活用、新潟市PRキャラクター花野古町・笹団五郎の活用</p> <p>(3) 自主事業 新潟発のオリジナル事業の展開・・・古町・団五郎関連等グッズ販売、特別展の開催（新潟市と協議）</p>		
<p>4. 管理運営に関する事業計画</p>	<p>(1) 組織（人員）体制・人材育成計画 情報館とマンガの家を統括責任者のもと一元化した組織体制とします。施設毎でも業務責任者を配置し、不測の事態に対応できる組織とします。常に良質なサービスを利用者に提供すべく、サービス精神及び技術の向上に適した各種研修を実施するとともに、適切なフォローアップを行います。</p> <p>(2) 適正な事務事業の実施にかかる対策 施設に事務会計責任者、事務会計担当者を設置することで、複数人での多重確認体制を構築し、適正な事務事業を実現します。コンプライアンスの遵守、経費削減の意識を徹底し、それらを実現すべく運営に当たります。</p> <p>(3) サービス向上のための具体的な取り組み お客様アンケートや普段のお客様と職員との会話から利用者ニーズを的確に把握し、常に利用者目線に立ったサービス、プログラムを企画・検討し、提供します。実施した各種事業や取り組みについては、内部・外部でのモニタリング等を活用したPDCAサイクルによるさらなる改善を継続します。</p> <p>(4) 施設管理に関する取り組み 災害等予測できない事態に備えて職員全員が定期的な訓練や教育を徹底し、状況に応じた適切な対応が可能な危機管理体制を構築します。誰もが安心・安全に施設を利用できるよう維持管理や清掃を適正に行います。</p>		
<p>5. 社会・地域貢献</p>	<p>(1) 市民の文化活動の振興に関する提案 情報館では、流行にこだわらず後世に伝えたいマンガ・アニメの展示により、ファンの定着並びにマンガ・アニメツーリズムの目的地として国内外から注目を浴びる施設となるべく取り組みます。マンガの家では、「マンガ教室」を開催し、世代を超えたコミュニティを創造するとともに、シナリオ製作やマンガと日本古来の文化との融合を図ることで潜在的な利用者へ訴求し、将来的には「マンガの家発」のプロのマンガ家を多数輩出できるよう取り組みます。</p> <p>(2) 社会・地域貢献活動、環境保護等の取り組み 社会・地域貢献活動としては、情報館とマンガの家が市民に愛され、親しまれ、市民との協働での施設運営を実現すべく両施設ともにボランティアの受け入れ、活動支援を行います。さらには障がい者雇用・社会参加の促進についても前向きに取り組みます。環境保護への取り組みとしては、節電、節水、廃棄物の抑制等の省エネルギー及び3Rを実行し、省資源化に努め、日々進歩する環境負荷を低減する設備機器やエコ情報を検証し、効果のあるものの導入を進めます。</p>		
<p>6. 収支計画 ・単位:円 ・()は指定期間トータルの額</p>	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>(1) 収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 (300,000,000) ・雑収入 (0) ・自主事業 (47,669,000) </td> <td style="vertical-align: top; padding-left: 20px;"> <p>(2) 支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 (88,140,000) ・事業費 (150,000,000) ・施設運営業務 (36,488,250) ・施設維持管理業務 (25,967,000) ・自主事業 (47,073,750) </td> </tr> </table>	<p>(1) 収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 (300,000,000) ・雑収入 (0) ・自主事業 (47,669,000) 	<p>(2) 支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 (88,140,000) ・事業費 (150,000,000) ・施設運営業務 (36,488,250) ・施設維持管理業務 (25,967,000) ・自主事業 (47,073,750)
<p>(1) 収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 (300,000,000) ・雑収入 (0) ・自主事業 (47,669,000) 	<p>(2) 支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 (88,140,000) ・事業費 (150,000,000) ・施設運営業務 (36,488,250) ・施設維持管理業務 (25,967,000) ・自主事業 (47,073,750) 		